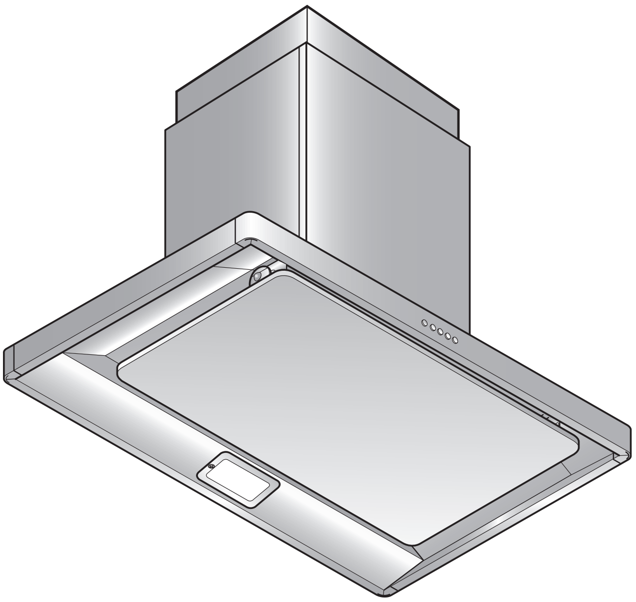
レンジフード

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意 .... ２～３
使用上のお願い ４
使いかた ５
　各部のなまえ ５
　スイッチ ５
お手入れのしかた .... ６～１４
　取りはずしのしかた ７
　組み立てのしかた .... ８～９
　おそうじのしかた .... ９～１０
　ファンのお手入れのしかた .... １１～１３
　ランプ交換のしかた １４
故障かなと思ったら １５
アフターサービス １６
仕 様 １７

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1B02 1681（CBARF）

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

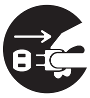
⚠ 警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠ 注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

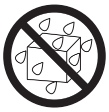


● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

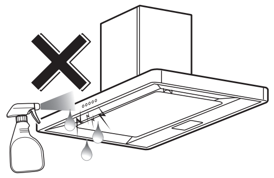
分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



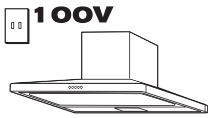
水かけ禁止

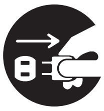
● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります



使用禁止

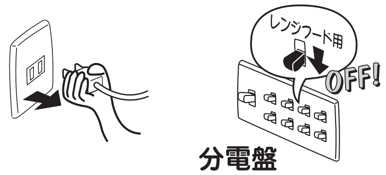
● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因になります





プラグを抜く

● **お手入れやランプ交換の際は必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
感電やけがをするおそれがあります



分電盤

濡れ手禁止

● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
感電やけがをするおそれがあります

ほこりをとる

● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと**
火災の原因になります

操作禁止

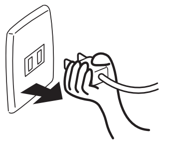
● **ガス漏れのときは、スイッチを操作しないこと**
爆発・引火のおそれがあります

安全上のご注意

⚠ 注意

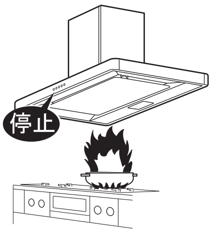
プラグを持って抜く

- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**
  コードにキズが付き、火災や感電の原因になります



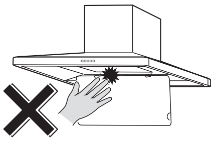
運転停止

- **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**
  運転をしていると火の勢いがより強くなり火災の原因になります



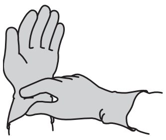
接触禁止

- **運転中は指や物を絶対に入れないこと**
  けがをするおそれがあります



手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

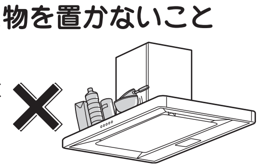


使用禁止

- **指定以外のランプを使わないこと**
  ランプカバー周辺が高温となり、やけどをするおそれがあります
  また、火災や故障の原因になります

禁　止

- **レンジフードの上に物を置かないこと**
  落下によりけがをしたり、火災や故障の原因になります

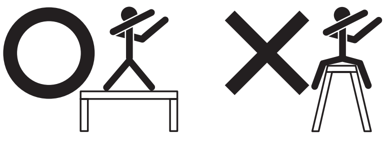


接触禁止

- **ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと**
  高温になるため、やけどをするおそれがあります

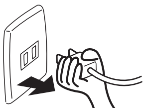
作業注意

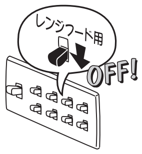
- **作業は必ず、安定した台の上に乗っておこなうこと**
  バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります



プラグを抜く

- **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
  絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

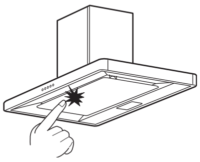




分電盤

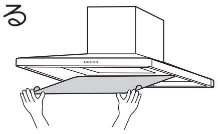
接触禁止

- **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**
  整流板や部品が落下して、やけどやけがをするおそれがあります



取付注意

- **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
  落下によりけがをするおそれがあります



使用禁止

- **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**
  本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

高温注意

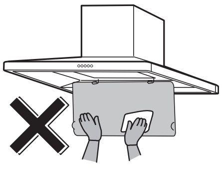
- **ランプ交換の際は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
  やけどをするおそれがあります

落下注意

- **部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**
  落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります

落下注意

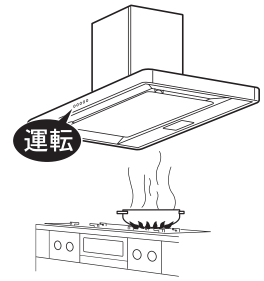
- **整流板を本体から取りはずさずに、下図のような状態でお手入れをしないこと**
  落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



使用上のお願い

● **調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください**

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因になります

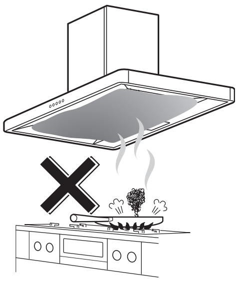


● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります**

レンジフード近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **調理機器の空焚きは絶対にしないでください**

製品の損傷や高熱による故障の原因になります



● **ＩＨクッキングヒーター（電気コンロ）を使用時、レンジフードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります**
お手数ですがその際は滴下する前にふき取ってご使用ください

特に冬期など気温の低い状況では結露が発生しやすくなりますのでご注意ください

● **グリル付の調理機器と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります**

結露した場合はふき取ってご使用ください

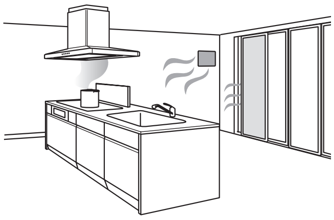
● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります**

結露した場合はふき取ってご使用ください

● **レンジフードの照明（電球形蛍光灯）を点灯しているとき、近くでテレビやラジオを使用されますと、雑音が入る場合があります**
その際はテレビやラジオを遠ざけるか、またはテレビやラジオの向きを変えてください

● **レンジフードの運転中は給気をおこなってください**

レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります

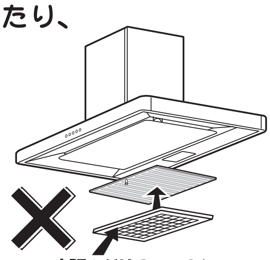


● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードから漏れやすくなります

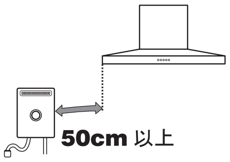
● **市販のフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください**

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります
性能を維持するため、専用のアクアスリットフィルタをご使用ください



● **湯沸器はレンジフードから50cm 以上離してください**
レンジフードの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因になります

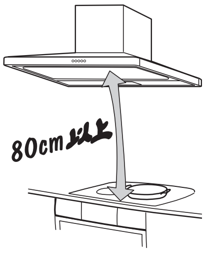


● **整流板をはずして使用しないでください**

吸い込みが悪くなります

● **調理機器の真上、80㎝ 以上に取り付けてあるか確認してください**

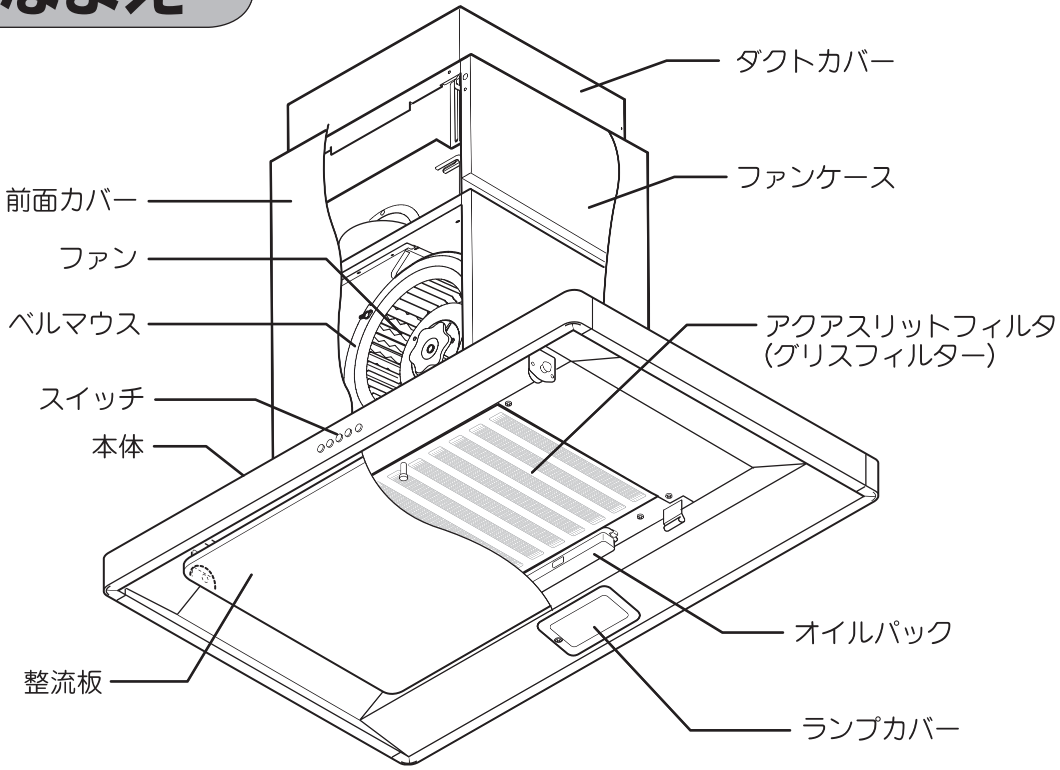
火災予防のため、製品の下端から調理機器の真上まで80㎝ 以上必要です



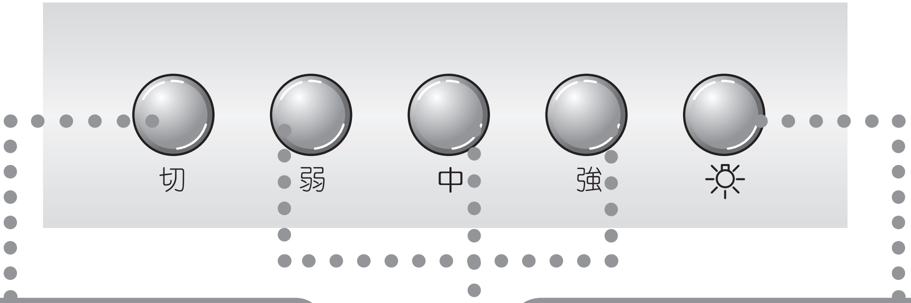
● **電球形蛍光灯をご使用の場合、明るくなるまでに時間がかかります**
また、点灯後しばらくは明るさや光色が若干変化します

使いかた

各部のなまえ



スイッチ



切スイッチ

スイッチを押すと運転を停止します。

※ 照明は消えません。 を押すと消えます。

ランプ入／切スイッチ

スイッチを押すとランプが点灯します。
(ランプを消すときは再度押してください。)

運転・風量切替スイッチ

弱　中　強

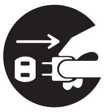
いずれかのスイッチを押すと、その風量で運転を開始します。
各スイッチを押すたびに風量が変わります。

風量設定のめやす

弱：煙などが少ないとき、静かに運転したいとき。
中：煙などが少ないとき。
強：煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。

お手入れのしかた

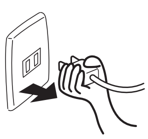
⚠警告



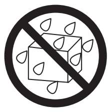
プラグを抜く

● **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**

感電やけがをするおそれがあります



分電盤



水かけ禁止

● **電気部品（モーター•スイッチ等）は、水•洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

濡れ手禁止

● **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**

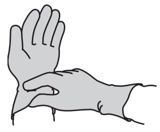
感電やけがをするおそれがあります

⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

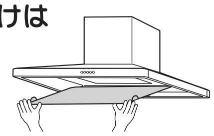
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります



お手入れの際のお願い

● **調理直後のお手入れはしない**
- 調理直後はレンジフードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。

● **おそうじはこまめにする**
- 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
  【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
- 特にアクアスリットフィルタは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。
  早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。

● **中性洗剤を使う**
- おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
  汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

> レンジフードの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
> お申し込み・お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

● **熱湯は変形のもと**
- ６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● **ファンを変形させない**
- ぶつけたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● **ファンをはずした状態では運転しない**
- ファンをはずした状態で運転しないでください。モーターが過熱して故障の原因になります。

● **専用のアクアスリットフィルタ（製品にあらかじめセットしてあるもの）を使う、他のフィルターを重ねない**
- 専用のアクアスリットフィルタ以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。

● **食器洗い乾燥機は使用しない**
- 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。

> ファン内部の汚れがひどい場合には、有償にて清掃を承っております。お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

お手入れのしかた

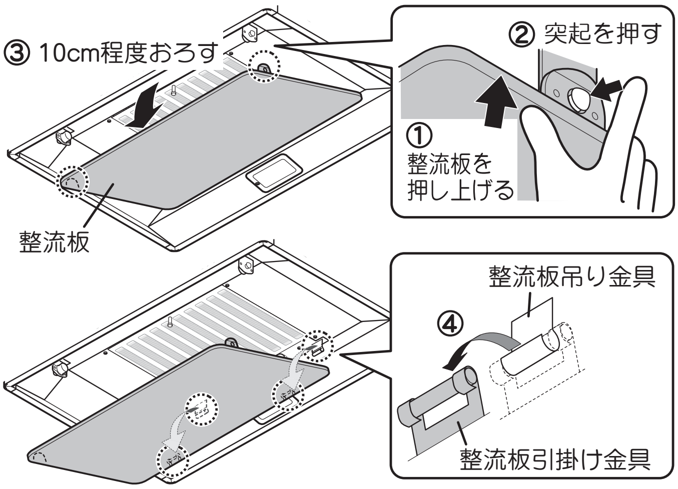
取りはずしのしかた

1 **整流板をはずします。**

1）整流板の左右を両手で支え、少し押し上げます（①）。

2）左右の突起を押し込みながら（②）ゆっくりと10cm程度おろした状態で（③）、整流板を少し奥に押し上げながら上に持ち上げ、金具からはずして手前へ取りはずします（④）。

※ 必ず左右同時にはずしてください。
整流板吊り金具の変形の原因になります。



お願い

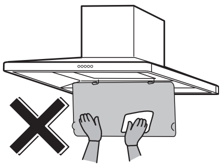
- 取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。
- 整流板のお手入れの際は、整流板や金具を変形させないようにご注意ください。変形させてしまった場合、整流板が取り付かなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

落下注意

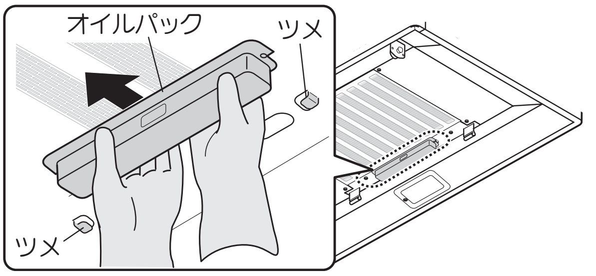
- **整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること**
- **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品のキズ・変形の原因になります



2 **オイルパックをはずします。**

オイルパックの油をこぼさないように水平に保ちながらアクアスリットフィルタ側へ動かし、本体のツメからはずしてください。

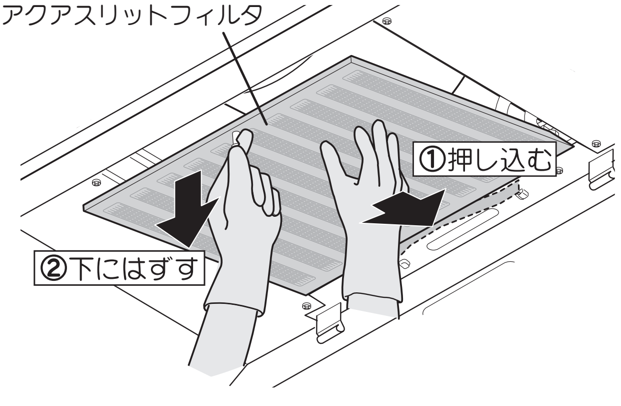


お願い

- 送風機やファンについた油はオイルパックにたまりますが、アクアスリットフィルタでほとんどの油を捕集するため、オイルパックにほとんど油がたまらない場合もあります。また、油料理の頻度が少ない場合にも、油はほとんどたまりません。ＩＨヒーター等をご使用の場合は水がたまることもあります。

3 **アクアスリットフィルタをはずします。**

アクアスリットフィルタのとってを持ち、奥側へ押し込みながら（①）、やや下側に引き出します（②）。



お願い

- アクアスリットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。

お手入れのしかた

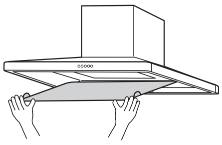
組み立てのしかた

⚠ 警告

取付注意

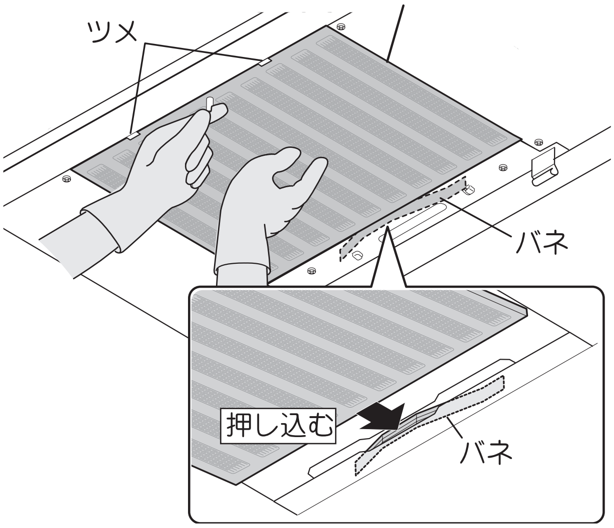
● **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります



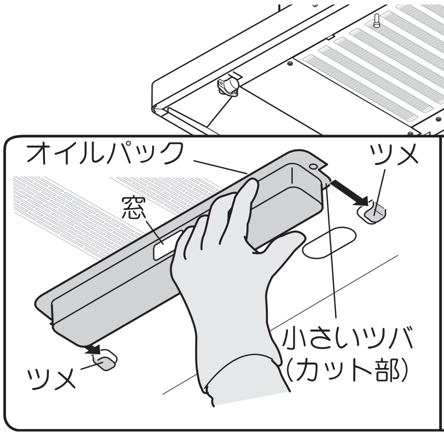
1 **アクアスリットフィルタを取り付けます。**

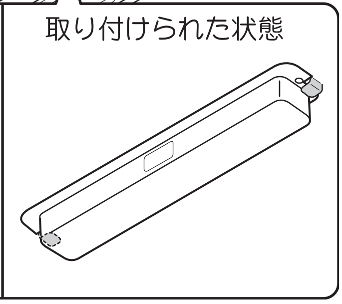
本体奥側の溝部分にアクアスリットフィルタを差し込み、反対側のツメで固定されるまで押し込みます。



2 **オイルパックを取り付けます。**

オイルパックの窓側を前面にしてオイルパックをツメに引っ掛け、突き当たるまで押し込みます。





お手入れのしかた

3 **整流板を取り付けます。**

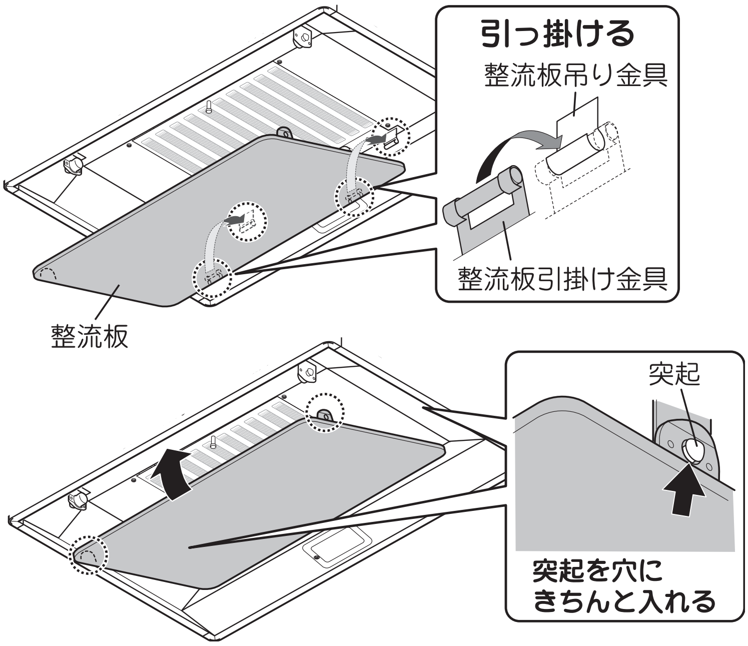
1）整流板引掛け金具を本体の整流板吊り金具に引っ掛けます。

2）前端をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで突起に押し込みます。

3）整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

お願い

●整流板の固定は、確実におこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

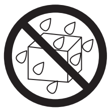


※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

おそうじのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、７～９ページをご参照ください。

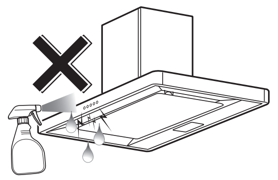
⚠警告



水かけ禁止

● **電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

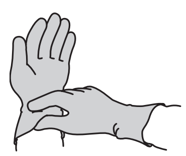


⚠注意

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

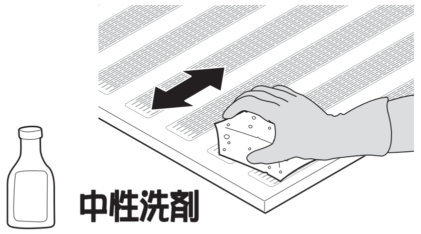


こまめにおそうじしてください。
特にアクアスリットフィルタは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

お手入れのしかた

■ アクアスリットフィルタ

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
やわらかいスポンジなどで、目に沿って水洗いをしてください。
（はじめにアクアスリットフィルタを水で濡らしておくと汚れが落ちやすくなります。）汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を使用して洗ってください。



お願い

● アクアスリットフィルタはこまめにおそうじしてください。
目詰まりを放置すると、換気不良や異音・振動の原因になります。

■ オイルパック

（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：１ヶ月に１回程度）
やわらかい布などで油をふき取り、ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。
その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

お願い

● オイルパックは食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。

■ 整流板

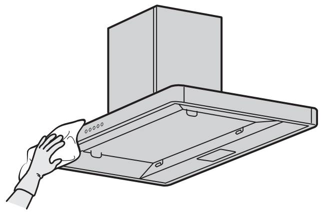
（汚れたらその都度お手入れしてください。）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お願い

● 裏面は汚れが強い場合があります。この場合、中性洗剤溶液に浸して、油が落ちやすくなってから汚れをふき取ってください。
● 整流板は必ず本体から取りはずしてお手入れをしてください。
● はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。
（変形・キズの原因となります。）

■ 本 体

（汚れたらその都度お手入れしてください。）
ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。
その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

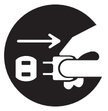


お手入れのしかた

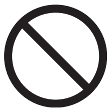
ファンのお手入れのしかた

汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次ページの手順でおこなってください。

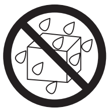
⚠ 警告


プラグを抜く

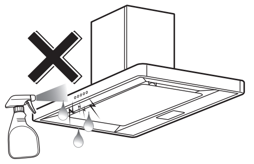
- **お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
  感電やけがをするおそれがあります


禁 止

- **調理機器を使用中には絶対お手入れをしないこと**


水かけ禁止

- **電気部品（モーター・スイッチ等）は､水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
  ショート・感電のおそれがあります



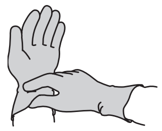
濡れ手禁止

- **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
  感電やけがをするおそれがあります

⚠ 注意

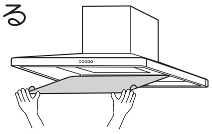
手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



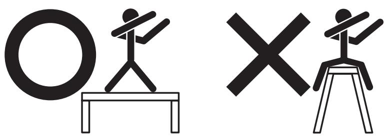
取付注意

- **お手入れの際にはずした整流板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと**
  落下によりけがをするおそれがあります



作業注意

- **作業は必ず、安定した台の上に乗っておこなうこと**
  バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります

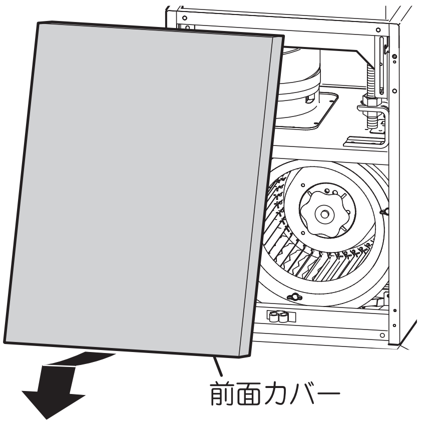


お手入れのしかた

■ ファンのはずしかた

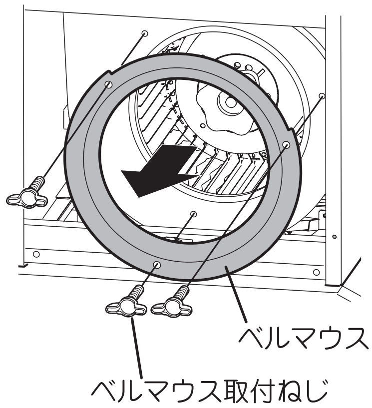
1 **ファンケースの前面カバーをはずします。**

前面カバーの下側を手前に引き、下へずらしながら取りはずします。



2 **ベルマウスをはずします。**

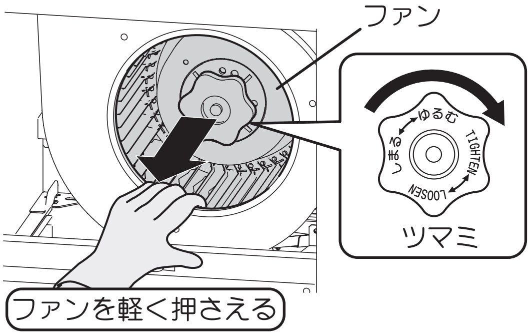
ベルマウス取付ねじ３ヶ所を手でゆるめて取りはずし、ベルマウスをはずします。



3 **ファンをはずします。**

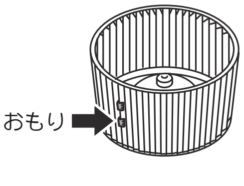
ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「ゆるむ」（時計回り）の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ファンは軽く押さえてください。
（強く押さえると変形するおそれがあります。）



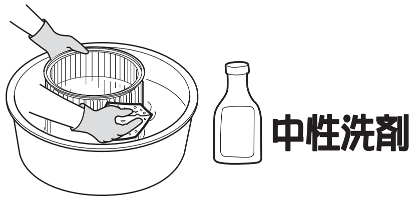
お願い

- ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。（異常な音や振動の原因になります。）
- ファンの回転バランスをとるために、おもり（クリップ状の金具）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因になります。）



■ ファンのおそうじのしかた

本体からはずして、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸しながら表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。
汚れがひどいときは中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけ置きしたのち表面のやわらかいスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

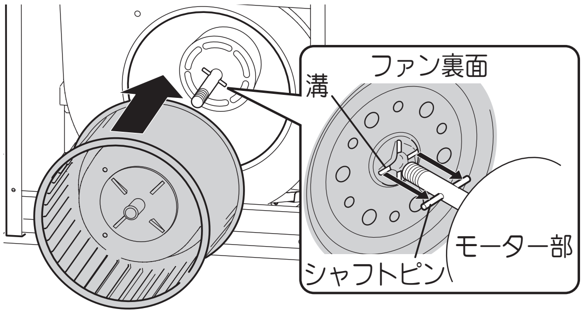


お手入れのしかた

■ ファンの取り付けかた

1 **ファンを取り付けます。**

ファンケース開口部からファンを入れ、ファンをモーター軸の根元まで差し込みます。



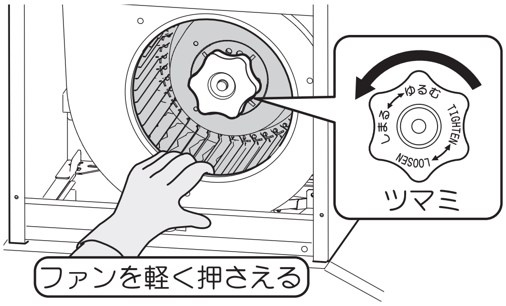
お願い

●ファン裏面の溝がシャフトピンに合うように確実に差し込んでください。（溝がシャフトピンに合っていないと異常音や故障の原因になります。）

2 **ツマミを取り付けます。**

ファンが回らないように軽く手で押さえ、ツマミを「しまる」（反時計回り）の方向に回して締め付けます。

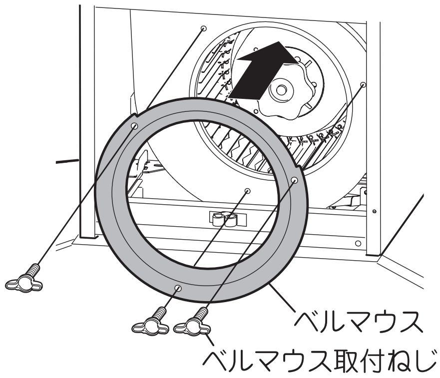
※ファンは軽く押さえてください。
　強く押さえると変形するおそれがあります。



3 **ベルマウスを取り付けます。**

ベルマウスのねじ穴を合わせ、ベルマウス取付ねじ３ヶ所を締め付けます。

※ベルマウスを取りつけたあと、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

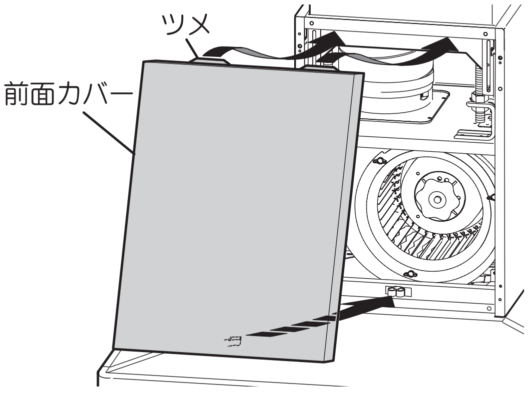


お願い

●ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。
（異音や故障の原因になります。）

4 **ファンケースの前面カバーを取り付けます。**

上部左右のツメを引っ掛け、上方へずらしながら前面カバーの下側を押し込みます。



※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
　ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

1B02 1681

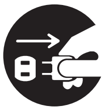
お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販の**ミニ電球**または**電球形蛍光灯**を購入し、交換してください。

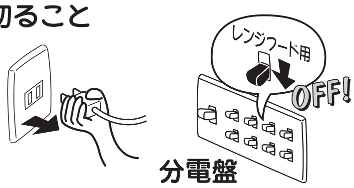
- ミニ電球 .... 定格１００Ｖ　４０W形　口金Ｅ１７
- 電球形蛍光灯 ... 定格１００Ｖ　電球４０W形　口金Ｅ１７
  形名ＥＦＤ１０Ｅ形（取付可能寸法：長さ９１ｍｍ以下、直径４５ｍｍ以下）

⚠ 警告



プラグを抜く

- **ランプ交換の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切ること**
  感電やけがをするおそれがあります



濡れ手禁止

- **電源プラグはぬれた手で抜き差ししないこと**
  感電やけがをするおそれがあります

⚠ 注意

使用禁止

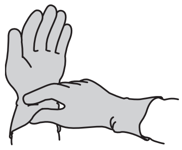
- **指定以外のランプを使わないこと**
  ランプカバー周辺が高温となり、やけどをするおそれがあります
  また、火災や故障の原因になります

高温注意

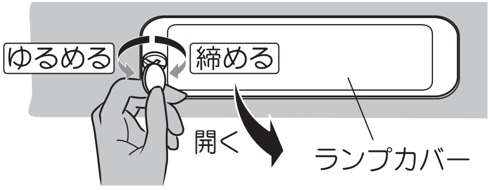
- **ランプ交換の際は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
  やけどをするおそれがあります

手袋をする

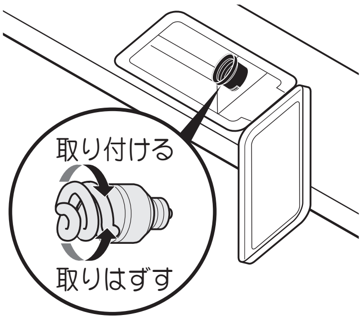
- **ランプ交換の際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



1 **ランプカバーを開きます。**
ランプカバーを手で支えながら、コインまたはドライバーでランプカバー取付ねじをゆるめて開きます。
（取付ねじはランプカバーからはずれません。）



2 **ランプを交換します。**
切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

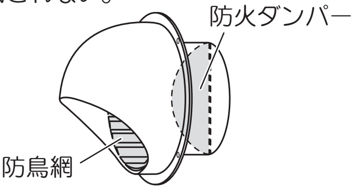


3 **ランプカバーを取り付けます。**
ランプカバー取付ねじをしっかり締め付けてランプカバーを固定します。

※完了後は、電源プラグを抜いた場合は電源プラグを差し込んでください。
　ブレーカーを切った場合は、ブレーカーを入れてください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう１度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。	● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプの交換をする。 ● ランプを取り付け直す。（14 ページ参照）
● 異常音がする。	● アクアスリットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。	● アクアスリットフィルタをそうじする。（10 ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● ファンのツマミを締め直す。（13 ページ参照） ● ファンを取り付け直す。（13 ページ参照） ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。（13 ページ参照）
● 吸い込みが悪い。	● 市販のフィルターを重ねている。 ● アクアスリットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。  	● 市販のフィルターをはずす。 ● アクアスリットフィルタをそうじする。（10 ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● オイルパックに油がたまらない。	● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。（送風機以外についた油はオイルパックにはたまりません。）	● オイルパックに油がたまってから捨てる。（10 ページ参照） ● 本体や整流板についた油はその都度ふき取る。

1B02 1681

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1)　火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2)　使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

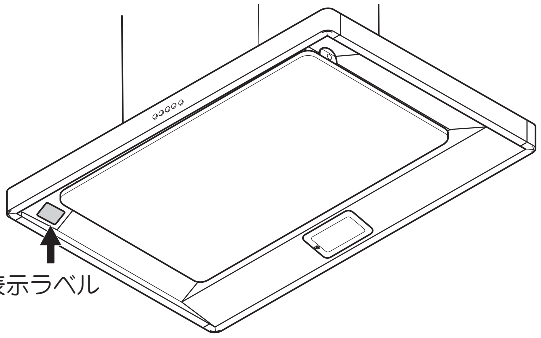
修理を依頼されるときは

15 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフード
型　名	
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードの型名は、本体左側面内側に表示してあります。



★長年ご使用の製品の点検を

愛情点検

ご使用の際、このような症状はありませんか？

● スイッチを入れても、動かないときがある。
● 運転中に異常な音や振動がある。
● 焦げ臭いにおいがする。
● その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

● 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
● 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
● 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
● 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕 様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)		騒音 (dB)	質量 (kg)
				0 Pa	130 Pa		
100	強	50	100	640	440	48	25.0
		60	125	625	520	46	
	中	50	95	540	—	43	
		60	102	455	—	40	
	弱	50	70	315	—	30	
		60	67	245	—	25	

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

1B02 1681

メ モ

メ モ

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65％	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 a) 台所　2 410時間／年	
注 a)	常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ	**購入店名**	**電話**　（　　）
	（システムキッチンメーカー名：　　　　）	
	ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120−953−903
ＦＡＸ　042−768−3383
ホームページ　http://www.satlehl.jp/
受付時間　９：００〜１７：４５（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕　富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１−９

お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間　９：００〜１８：００（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）